

クラシノソコアゲ応援団!RENGOキャンペーン

全道キャラバン通信

No.56 2018. 5. 10 発行責任者 連合北海道組織労働局

クラシノソコアゲ応援団!RENGOキャンペーン第3弾

全道キャラバンがスタート

約1ヵ月間で、ぐるっと全道一周します

連合北海道は「クラシノソコアゲ応援団!RENGOキャンペーン」第3弾の行動として、5月10日～6月8日までの約1ヵ月間の日程で、道内13地協による全道キャラバン行動を実施する。

全道キャラバン行動では国会で審議されはじめた働き方改革関連法案に含まれている高度プロフェッショナル制度等の問題点をはじめとする別記の運動課題について道民に広く理解を求め、世論喚起を図ることとしている。

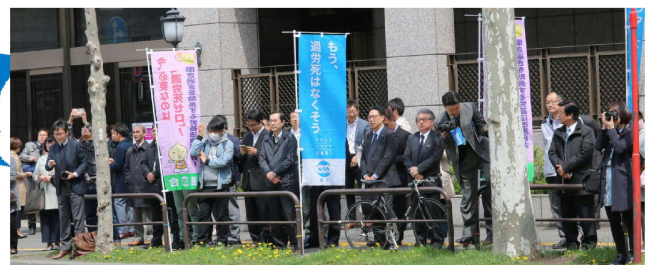
初日の10日には札幌市の紀伊國屋書店前で「出発街頭集会」を開催し、産別、地協から約100名が参加した。

連合北海道の出村会長は、国会で審議されている働き方改革法案について、「連合の考えに沿った内容もあるが、働かせ放題が危惧される高度プロフェッショナル制度の創設が含まれており、なんとしても撤回させなければならない」と強く訴え、立憲民主党や国民民主党が提出した対案を労働者保護の内容と評価し、「野党案の成立のために地域から後押ししたい」とキャラバンの目的について述べた。続いて立憲民主党道連幹事長の市橋修治道議も「高度プロフェッショナル制度は残業代ゼロ法案と称されたホワイトカラーエグゼンプションが名前を変えただけのもの」と指摘し、「野党がどうつめるか注目してほしい。全道各地で訴え、働く者の声を吸い上げてほしい。その声を受け止めて私たちも頑張る」、また、地域を代表して連合北海道石狩地協の太田会長は「全道キャラバンを通じて連合がめざす働く者を軸とする社会の実現に向けた考えを発信し、世論喚起を促したい」と、それぞれ決意を語った。

街宣車は11日午後まで石狩管内を巡り、同日夕方には後志地協に引き継ぎ、小樽駅前街頭集会を開催予定。以降、14日からは檜山地協、渡島地協へと引き継がれる。



キャラバンの目的や決意などを述べた左から石狩地協・太田会長、立憲民主党道連・市橋幹事長、連合北海道・出村会長



出発集会に駆けつけた連合組合員

☆キャラバン行動の運動課題☆

- ①長時間労働の是正(教職員を含む)・過労死ゼロの実現をめざす。
- ②労働法制の改悪(高度プロフェッショナル制度の創設、裁量労働制の対象業務の拡大、解雇の金銭解決制度の導入)は絶対許さない。
- ③公正取引を推進し、中小下請け労働者と非正規労働者の賃金改善を実現しよう。
- ④給付型奨学金制度の拡充をめざす。
- ⑤介護離職の防止と待機児童問題の解消をめざす。
- ⑥鉄道網を含めた北海道の公共交通ネットワークの確立をめざす。
- ⑦自治体の財政確保と地方分権の確立をめざす。